

★★

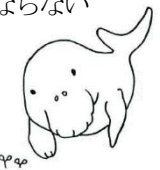
# ジュゴン Vol.123

## ちゃんぶるニュース

**SDCC** 2022. 7. 19  
Save the Dugong Campaign Center

# CONTENTS

- 2/3 情勢・沖縄を二度と戦場にはならない
- 核兵器禁止条約第一回会議開催
- 4/5 「月桃」歌碑建立除幕式
- 第2回オンラインセミナー案内
- 6/7 交流広場一名前を読み上げ追悼
- コラム「月桃」歌碑建立物語
- わんさか通信★ジュゴンのわ



2月24日のロシアのウクライナ侵攻から4か月が過ぎようとしている。5月2日、国連人権高等弁務官事務所は、ロシアによる軍事侵攻開始以来、ウクライナで死亡した民間人は3000人を超えたと発表した。6月末段階では諸説あるが、ウクライナ政府は1万人を超えると発表している

プーチン政権の軍事侵攻が許せないことは当然だ。そのうえで言いたい。ゼレンスキー政権は、成人男子の国外脱出を禁じた。ウクライナには逃げる自由、殺さない自由はないのか？民間人によるロシア兵の殺害を合法化し、武器を配布した。(Newsweek 3/10) これはロシア軍による民間人虐殺の引き金になる。

## ウクライナ戦争とジュゴンの「絶対平和」

日本はどうか？自民、公明、維新はもちろん、いわゆる「立憲野党」がウクライナへの軍事支援とロシアへの経済制裁に関し、強弱はあれ事実上容認の立場をとっている。ウクライナの武装抵抗を支持している。こんなことで、「国際紛争の解決の手段としての武力の行使を永久に放棄する」憲法を守れるのだろうか？ゼレンスキーの国会演説への「スタンディングオベーション」の裏で、改憲をもくろむ輩が薄笑いしていたのではないか。

私はウクライナの武装抵抗に反対だ。NATO、アメリカの最新鋭兵器と軍事情報の提供が武装抵抗を可能にしている。戦争が続く限り人が死ぬ。軍産複合体が民衆の血によって肥太っていく。即時停戦、ロシア軍の撤退、ウクライナの武装抵抗の中止、国際的枠組みによる停戦・平和交渉の開始が必要だ。日本政府はすでに即時停戦の旗を降ろしてしまった。だから私たち民衆が即時停戦の声をいっそう強めるときだ。

ジュゴンは竜宮神として古来より信仰の対象となってきた。ジュゴンは穏やかで争わない。「絶対平和の神」である。沖縄ジュゴンを守り、中国を仮想敵国とした「第2の沖縄戦」を準備する辺野古新基地建設と奄美・沖縄の島々への自衛隊ミサイル基地配備をとめよう。

これが「ウクライナの武装抵抗支持」の呪縛から解放され、平和なアジアと世界をつくっていく道だと思う。  
（関西 松島洋介）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



西原町（沖縄）に建てられた「月桃」歌碑の除幕式。6/22。（4面）。



沖縄慰霊の日に合わせて官邸前アピール（5面に関連記事）。

情 勢 (事務局)

# 二度と沖縄を戦場にはしません ～軍隊は住民を守らない～

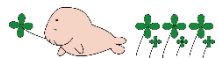
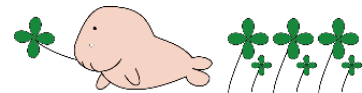


「沖縄離島の避難は自治体で」。これは昨年 11 月、日米共同演習が沖縄で取り組まれたときの自衛隊幹部の発言です（琉球新報 12 月 25 日社説）。「台湾有事」を口実にした対中国の日米共同演習はすでに始まっています。米軍の「遠征前方基地作戦(EABO)」は、海兵隊の少数部隊が沖縄の離島で中国艦船に向けてミサイルを発射、「ヒット・エンド・ラン」で、安全な場所に逃げるという作戦です。日本の戦力と予算を使った「米軍による沖縄戦」で、米中戦争を終結させるという厚かましい作戦です。中国市場が米国にとって重要だから、中国の産業や生活基盤を壊したくないのです。1 月日米外務防衛閣僚会議（2 + 2）、5 月日米首脳会談で基本方針を決定。6 月には「離島防衛能力向上のため」に海兵隊と陸自の現場の指揮官がシンポジウムをするなど超スピードで具体化が進められています。

岸田政権は G7（主要 7 개국首脳会議）で中国脅威論を振りまき、NATO（北大西洋条約機構）に初めて出席するなど「力の政策」を進めています。しかし、今年は日中国交回復 50 年です。72 年 9 月日中共同声明で「戦争終結」「国交正常化」のための復興 3 原則として「中華人民共和国が中国を代表する唯一の政府」「台湾は中国の不可分の領土」「日華平和条約は無効廃棄（台湾政府を否定）」を確認しました。そのうえで、78 年日中平和条約で「武力に訴えない」「経済、文化などの交流を深める」努力をしてきました。政治家は戦争準備でなく、平和をつくり上げる外交努力こそすべきです。

昨年 11 月沖縄県は設計変更申請を不承認しました。国地方係争処理委員会が審査中ですが、9 月県知事選挙次第で「防衛省の設計変更申請」について扱いが決まります。沖縄、日本の将来にとって、きわめて重要な知事選挙です。大浦湾の軟弱地盤問題は米国政府や連邦議会を動かしています。米政府監査院(GAO)は「国防総省が軟弱地盤を報告していない」と指摘しています。「18 海兵隊航空計画」では辺野古基地計画が「21 年度格納庫、24 年度滑走路」としていましたが、軟弱地盤問題が明らかになった 19 年度以降は、削除されたままです（普天間基地は明記）。21 年 7 月サンゴ移植の最高裁判決（3 対 2）で沖縄県は敗訴しましたが、「判決の票差」と、「環境要因で工期が遅れている」ことに米上院軍事委員会は驚いています。反戦平和の闘いと、ジュゴンなど生物多様性豊かな Hope Spot（希望の海）を守る闘いで、沖縄を二度と戦場にはなりません。

岸田政権は G7（主要 7 개국首脳会議）で中国脅威論を振りまき、NATO（北大西洋条約機構）に初めて出席するなど「力の政策」を進めています。しかし、今年は日中国交回復 50 年です。72 年 9 月日中共同声明で「戦争終結」「国交正常化」のための復興 3 原則として「中華人民共和国が中国を代表する唯一の政府」「台湾は中国の不可分の領土」「日華平和条約は無効廃棄（台湾政府を否定）」を確認しました。そのうえで、78 年日中平和条約で「武力に訴えない」「経済、文化などの交流を深める」努力をしてきました。政治家は戦争準備でなく、平和をつくり上げる外交努力こそすべきです。



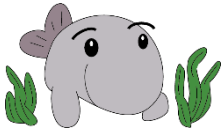
## 「核兵器ない世界にむけて ～核禁条約第 1 回会議」

6 月 21 日～23 日、核兵器の使用や威嚇を認めないとする核兵器禁止条約（以下、核禁条約）締約国第 1 回会議がオーストリア・ウィーンで開催（署名は 86 개국地域、うち批准は 65 개국地域）。「核なき世界」の実現を国際社会に呼び掛ける「ウィーン宣言」と「ウィーン行動計画」を採択しました。行動計画では「核被害者の救済を目指す基金の設置」や「核保有国に核軍縮の取り組みを課す NPT（核拡散防止条約）と補完する関係だから『2 つの条約の調整役』を任命」、「核兵器保有国が条約に参加する場合は 10 年以内の廃棄を求める」などを決めました。ドイツなど 34 개국がオブザーバーとして「核廃絶に向けて心を開き、誠実に対話することが必要不可欠だ」（ドイツ）と論議に参加しました。

核不拡散条約（NPT）の再検討会議が 7 年ぶりに、8 月ニューヨーク国連本部で開催されます。岸田首相は「核兵器国と非核兵器国との『橋渡し』をする」と参加しますが、核禁条約会議参加者から「オブザーバー参加していない国がどうして『橋渡し』できるのか」と批判しています。来年 5 月 G7（主要国首脳会議）を被爆地・広島で開催すると宣伝していますが、来年 11 月ニューヨーク国連本部で開かれる第 2 回核禁条約会議にこそ参加すべきです。ロシアが核兵器で威嚇してウクライナに侵略したことで「核抑止」論は破綻しました。だから、安倍元首相らは「核共有」という名の「独自核武装」を考えているのです。

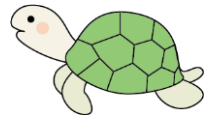
（事務局 蛭川義章）





# 「ジュゴン絶滅論文」へのコメント

## 国際担当からの報告



去る4月、辺野古新基地建設に関わる環境監視等委員会のメンバーによる論文 Trajectory to local extinction of an isolated dugong population near Okinawa Island, Japan (日本、沖縄島近海のジュゴン個体群の絶滅への軌跡、タイトルは吉川和昭氏) が国際的学術誌 Scientific Reports に掲載された。この論文は、沖縄ジュゴンの生息状況についての学術的見解であるが、基地建設の今後の展開にも影響を与える可能性がある。その意味で、SDCC の国際担当として同学術誌に同論文に対するコメントを送った。以下その内容を紹介したい。

### 評価と学術的問題

今回の論文は、昨年5月に同著者らが同学術誌に投稿したいわゆる沖縄ジュゴンの「絶滅論文」を大幅修正したものだ。私はまずコメントの中で、Minimal Viable Population の分析方法を用い、沖縄のジュゴンが危機的状況であることを再確認したことは評価できるとした。また、私が昨年の論文に対して編集部へ送っていたコメント／批判に対応する形で今回の論文が修正されていたことも評価した。(私が参照すべきだと提案した参考文献全てについて言及している)

一方で、今回の論文でも幾つかの学術的に見逃せない問題が確認された。まず、沖縄のジュゴンを「絶滅に近い、あるいは絶滅した、と言わざるをえない」という主張だ。「絶滅に近い」という概念と「絶滅」という概念は異なるものであり、その違いは慎重に考慮されるべきで、一つのセンテンスで一緒くたに議論されてはならない。またその違いについての国内法やIUCNの科学的基準への言及もない。これら概念の乱雑な扱いであると指摘し、対応が必要であるとされた。

2点目は、絶滅回避の措置として示された「飼育による繁殖」や他地域からの「ジュゴンの移入」の問題だ。飼育による繁殖はこれまで成功例がなく極めて難しいことが分かっている。また他地域からの移入については、国際条約をクリアーすることや移入先の具体的議論が必要である。そのためには、ジュゴンの確認がなぜ難しくなってきたのかの検証が不可欠である。しかしそれらの議論が全くない。この二つの提案も、私のコメントに対応して行われたのだと推測できるが、短絡的な提案であると指摘し、丁寧な議論が必要であるとされた。



3点目は、辺野古新基地建設の影響について言及していないこと、そしてその影響を指摘した最新の研究論文を参照していないことの問題だ。最新の論文とは、ジュゴンの専門家柏谷俊夫氏と細川太郎氏による「沖縄のジュゴン」の論文である。この論文は、ジュゴンの世界的権威ヘレン・マーシュ氏らによる著書の和訳版「ジュゴンとマナティー 海牛類の生態と保全 (2021年)」に特別に掲載されている。この論文では、ジュゴンが嘉陽沖を含む沖縄島東海岸で確認されなくなったのは、辺野古新基地建設工事の影響、特に工事騒音の可能性が高いと議論されている。玉城デニー沖縄県知事による沖縄防衛局の設計変更の申請不承認においても、工事によるジュゴンへの影響は重要な論点の一つである。基地建設の影響を全く無視した論文であると指摘した。

### 倫理的問題

最後に私が強調したのは、研究者としての倫理の問題である。同論文の著者は、この論文を作成するにあたり「利益相反」は無いと記述していた。5人の著者のうち3名は沖縄防衛局が設置した環境監視等委員会の現メンバーであり、1名は前メンバーである。同委員会の「工事はジュゴンに影響なし」の見解に基づいて建設工事が進められてきた。これらは学術誌の国際的基準からすると利益相反に値するものだといえよう。著者らは少なくとも環境監視等委員会のメンバーであることを正直に記述すべきだったと指摘し、Scientific Reports に論文の記載について再考を求めた。

現時点において同論文は同学術誌に掲載されたままである。しかし前回の「ジュゴン絶滅論文」と同様、何らかの対応がなされることを期待している。SDCC としては対応を注視していくと同時に、同論文を国際的に問題化していきたい。(国際担当 吉川秀樹)



PHOTO: 環境省 大浦湾を泳ぐジュゴン個体B (右側 2019.3死亡) と個体C (左側 2015.7より行方不明)

PHOTO: 環境省 大浦湾で泳ぐジュゴン個体 B (右側 2019.3死亡) と個体 C (左側 2015.7より行方不明)

報告

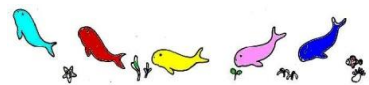
# 6・22「月桃」の歌碑除幕式に参加



歌「月桃」の石碑が西原運動公園内「夕陽の広場」に建立されました。沖縄戦の激戦地であった西原町運玉森と糸満市摩文仁が同じ方角に望むことができます。住民の47%が尊い命を失った思いを復帰50年の今年、西原町記念事業になりました。歌碑（本部石）の大きさは横 4.97m、高さ 2.43m、厚さ 1.45m。重量は約 26 トン。歌詞の6番まで刻まれ、スイッチを押せば歌が流れます。海勢頭豊（作詞作曲）さんのプロフィール（石碑）も置かれています。県内外から 1815 件 1371 万円の寄付が寄せられました。新里米吉・実行委員長は除幕式に参加した 200 人を前に「沖縄戦の体験者が少なくなる中で、歌『月桃』が歌い継がれることを期待したい」と建立への思いを語りました。つづいて、坂田小学校音楽部 16 人が「月桃」を合唱、全世界の平和への思いを歌い上げました。

翌日の慰霊の日、地元紙や NHK などでは除幕式を大きく報道しました。「平和の歌 石碑で継ぐ」（沖縄タイムス）、「恒久平和歌い継ぐ」（琉球新報）。NHK は坂田小学校音楽部での練習風景と海勢頭さんが「月桃」にかける思いを小学生に語る姿を紹介。慰霊の日に、街頭インタビューで若者が「月桃」を口ずさむ様子を紹介していました。「月桃」を制作して 40 年、海勢頭さんは「戦争をする愚かな大人たちを告発する歌になっていけばよい」「子ども達が元気に歌い上げて平和に繋がられるように、明るいメロディにしました」と語っています。

（事務局 蛭川義章）



歌碑の前で歌う海勢頭豊さん



「月桃」の歌詞が刻まれています



## 月桃の歌碑におもよう



「月桃」の歌碑建立は西原町復帰 50 周年記念事業として取り組まれた。壮絶な沖縄戦で住民の 47%が犠牲となった。西原運動公園、夕陽の広場から運玉森、摩文仁の丘を見渡すと戦争の事実を知り学び平和のおもいを深める。

「月桃」の歌碑は巨大で迫力あるもとぶ石が用いられているが、なかなか手に入らず、たくさんの人たちのおもいが奇跡を呼んで刻まれたという。歌碑の前で海勢頭豊さんの笑顔は最高に優しく愛に溢れていた。

世界平和の願いを物言わぬ強く生き咲いている月桃の花と重ねて深く心に沁み入った。

～変わらぬ心 変わらぬ命～ぬちどうたからのおもいは人の心が変わろうとも決して忘れてはならない。平和を願って望んで平和を創っていくこと「月桃」の歌碑の前で共に歌い

ながら今こそ平和学習が大切であると痛感する。もうすぐ京都からぶどうの木保育園が沖縄平和キャンプにやってくる。沖縄の地で子どもたちと共に歌う。豊さんに感謝しながら～

（沖縄 高垣 縁）



SDCC メンバーもジュゴンといっしょに参加しました



ご案内

第2回オンラインセミナー  
アキノ隊員に聞く



世界自然遺産やんばるの森に、今も残る米軍廃棄物

2021年7月、沖縄島北部の森林におおわれた豊かな自然の残る地域-やんばるの森が、世界自然遺産に登録されました。しかし、隣接する米軍北部訓練場では、オスプレイの飛行訓練などの騒音が昼夜鳴り響いています。また、世界遺産登録地には2016年に米軍から部分返還された北部訓練場跡地が含まれていて、そこにはいまだに米軍が残した弾薬や野戦食の袋、ドラム缶などの廃棄物が未回収のまま大量に残っているのです。

数年前から米軍廃棄物を見つけ、通報してきた宮城秋乃さんが、昨年末、北部訓練場ゲート前に廃棄物を置き米軍車両や軍関係者らの通行を妨げたとして、威力業務妨害などの罪で在宅起訴される事態となっています。今回のセミナーでは宮城さんから、米軍廃棄物と起訴についてのお話を伺います。



アキノ隊員 (宮城秋乃さん)

講師：アキノ隊員 (宮城秋乃さん・チョウ類生態研究者)  
 日時：7月30日 (土) 午後14:00~15:30 参加費：500円  
 配信方法：YouTube チャット機能で質問を受け付けます  
 申し込み方法：info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、参加費500円をSDCC口座までお振込みください (口座番号は最終面に記載)。入金確認後 YouTube の配信アドレスをお送りします。当日の視聴希望の方は、7月28日 (木) までにお振込みください。また、終了後一か月間視聴できますので、後日視聴のお申し込みもお待ちしています。



北部訓練場返還地に遺棄された軍事廃棄物

首都圏

完成の見込みのない基地建設工事をやめろ！沖縄県の「不承認」断固支持！



辺野古ブルーアクションに参加しよう！



毎月第一土曜日は、辺野古ブルーアクションの日。オール沖縄のキャンプシュワブゲート前行動と連帯するため、首都圏の仲間たちは新宿駅南口に集まりスタンディングやシュプレヒコールをして辺野古新基地建設反対を訴えています。

7月2日は抜けるような青空で、陽の光や熱線がアスファルトからも跳ね返る暑い日でしたが、多くの人が集まりました。辺野古の埋立て工事を国は直ちに中止すべきです。沖縄県知事が設計変更を不承認とした以上、違法工事に当たるからです。県民投票において県民の72%が基地建設に反対票を投じたことで明らかのように、沖縄県民の民意に反するものだからです。ジュゴンやサンゴなど貴重な生物を殺し、美しい海を壊すこと。軍事基地建設はかえって県民を武力攻撃の危険にさらすこと。軟弱地盤で完成が見込めない基地の建設に2兆5千億円もの税金を投入することは国民の利益に反すること。どれをとっても許されま

せん。さらに埋立土砂が足りないからと、戦死者の遺骨の入った土砂を埋立に使うなどもってのほか！人倫にもとる行為です。

維新の参院選候補の街頭演説会と鉢合せしましたが、威圧的な維新スタッフにも堂々と対応、整然と今回のアピール行動を終えました。改めて辺野古新基地建設をとめたいという思いを強くしました。

(首都圏 蟹江由美子)



新宿駅南口に「辺野古NO」のバナーを広げました



交流広場

富樫さんは数年前までカヌーチーム辺野古ぶる一の最年長メンバーとして活躍、現在は読谷村や本部町安和の琉球セメント入口前で、スタンディングされています。—「1942年神戸で生まれる。両親は那覇出身。小学生の時、父親が渡嘉敷から富樫に変える。復帰前の71年に単身沖縄に帰る。読谷村に住み、2014年から辺野古の運動に関わる。」

名前読み上げて追悼

6月12日(日) この日、「平和の礎・名前読み上げの集い」が読谷でありました。平和の礎には24万人強もの名前が礎に刻まれています。その方々の名前を11日間かけて23日の慰霊の日、午前中までに読み上げ、追悼しようとの運動です。そのオープニングセレモニーが我が読谷で行いました。



読谷村での名前読み上げの集いの様子

知事、村長も出席してもらい、追悼の言葉を述べたあとに、戦没者の名前を読み上げました。読谷村関係死者は3,876人います。村長には戦没者名簿の最初のページ52名を読んでもらいました。

A4紙に書かれた台帳の1行には、名前と年齢(17)、死場所(奄美大島北方)が書かれています。本土疎開中に、乗っていた船が撃沈されたのでしょうか。そこにちょっと目を触れ、アカハツコさんと呼びかけました。アカハツコさんは応答はしませんが、何を言おうとしたかはわかります。

「戦さは二度とするな」ということでしょうか。名前を呼ぶと戦没者の名前は立ち上がる気がします。そこで私たちは毎年毎年「誓いを新たに」します。

オープニングで歌われた海勢頭豊さんの「月桃」が流れてきます。

♪摩文仁(まぶに)の丘の祈りの歌に

夏の真昼は青い空

誓いの言葉今もあらたな

ふるさとの夏

(沖縄県在住 富樫守)

読み上げは、読谷村からはじまったんですね



報告

「月桃」歌碑をめぐる、おきなわ旅

6月21日~25日沖縄を旅してきました。“…香れよ香れ 月桃の花 永遠に咲く身の 花ごころ 変わらぬ命 変わらぬ心 ふるさとの夏…”『月桃』の歌詞の意味をかみしめ、口ずさみながらの旅となりました。また、SDCCメンバー、沖縄の瀬底に住む高垣縁さんたちと一緒に、グラスボートで辺野古の海に出て、瀬嵩の浜ではHopeSpotアクション！パネルを持ってアピール動画を撮りました。行きたかったお店に行き、会いたかった人たちに会え、嬉しい楽しい時間を過ごしました。

那覇空港に到着して、まずパレット久茂地6Fで開催中の「復帰50年写真展・沖縄写真の軌跡」に立ち寄り、アキノ隊員にご挨拶。アキノさんの写真は今の米軍基地問題を訴えるものです(7月30日にオンラインセミナーを開きます)。22日の『月桃』歌碑除幕式に参加できてほんとうに良かったです。希望を感じるものでした。私たちがいなくなっても碑は在り続ける。この碑に込められた『平和を願う心』が子どもたちへ、未来へ伝わっていきますように。

翌日は伊江島へ。わびあいの里で謝花悦子さんのお話を聴くことができました。「あなたはどうしますか？何ができ

ますか？」の問いに向き合い続けなくては。お元気でほんとと安心しました。「みんなが反対すれば 戦争はやめさせられる」阿波根昌鴻さんの言葉が写真と一緒に掲げられていたのが心に残っています。旅の終わりに、平和の礎、魂魄の塔を訪れ、喜屋武岬から海を眺めました。忘れないために。(関西 池側恵美子)



伊江島で訪れたヌチドゥタカラの家



# 「月桃」歌碑建立物語 — ~ころむ・コラム~

不思議だ。45年前、私が西原町の坂田ハイツに移住しなければ「月桃」の歌は生まれてなかった。RBCハイツとも呼ばれ琉球放送や沖縄タイムスの職員が多くいた。5年後の6月、手伝ってくれと頼まれたのが慰霊の日報道特番であった。激戦地南部に点在する一家全滅の屋敷跡に咲く月桃を見てメロディと歌詞が生まれ、「月桃」ができた。それがいつのまにか沖縄の各学校で歌われるようになり、さらには映画「GAMA-月桃の花」の主題歌として全国の中学生高校生が歌うようになり、今は亡き筑紫哲也のニュース23のエンディングテーマで半年間も流れて、歌は勝手に広がっていた。

そして「月桃」の歌碑を建てる話が出たのも坂田ハイツの住民からだった。今年1月実行委員会を結成。委員長に新里米吉が就任。決まったのが「5メートルの石に刻む」と、「除幕式を6月22日とする」だった。幸い協賛金は川原剛に寄せられたが、肝心な大石が見つからなかった。中国産御影石でも、船での運搬を逆算すると直ぐにも契約をしないと除幕式に間に合わない。

そんな、3月27日、大宜見村の山小屋に住む上原延

義に電話した。すると「先輩、私が大きな石のある所を知ってますよ」という。翌朝、役員揃って大宜見村塩屋に直行した。「えんどうの花」の歌碑前で待ち合わせた上原の先導で、津波の前田建機敷地内の大石と対面し、それから本部に走って鉾山で待つ本部砕石の社長に会い、やはり本部砕石からの提供は無理だと判断するや社長共々大宜見に戻り、再び大石を確かめた。そこへ前田建機の社長が現れ、双方と契約することを決めたのである。つまり、読谷にある本部砕石の工場に大石を納品するのは前田建機の仕事、大石に歌詞を刻み西原町運動公園に設置するのが本部砕石の仕事とし、見積りさせた。

もし、3月28日がなかったら、どうなっていたかわからない、それこそ神の導きにも思えるが、さらに驚いたのは、月桃の歌を大石に刻む担当が17年前に読谷の子ども達と一緒に関西関東で親子コンサートに参加した玉城さんだったのだ。無事除幕式を迎えた日、ジュゴン保護キャンペーンセンターのみんなが琉球讃歌を踊ってくれ、ほっとした。感謝

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

## ① わんさか通信 ★ ジュゴンの①

きよ

### 清らかに花が咲くように

私が初めて「月桃」を聞いたのは東京でのコンサートだった。その後縁あって沖縄に住むことになりこの歌が県民に沁みわたっている事に驚いた。小学生が鼻歌で歌っているではないか！

今年本土復帰50年を記念して月桃の歌碑が建立された。沖縄の悲しみ、二度と戦争を繰り返さない決意、約束を込め



おきなわ旅で訪れた喜屋武岬の海（左の記事）

て作ったという海勢頭さんの願い。子供達に負けないために強い気持ちで（戦争をしない心で）歌ってほしい

「変わらぬ命（きれいに咲く命）、変わらぬ心（平和を願う心）」

子供たちが歌いやすいメロディ、最初は分からなかった歌詞の意味も成長するに従い理解して、慰霊の日の重みを学んでいく。「月桃」ができて40年、今子供たちに歌い継がれている。

歌碑除幕式で坂田小学校音楽部の子供達が歌詞の意味を込めながら真っすぐに愛おしく歌ってくれました。

（沖縄 小平裕美）



除幕式で澄み渡る歌声を聞かせてくれた坂田小の皆さんと一緒に

# INFORMATION

## <首都圏>

- ・7/20 辺野古へ行こう7/20集会  
18:30～ 文教区民センター 主催 辺野古実行委員会  
講師 北上田毅さん(平和市民連絡会)  
「辺野古新基地建設は今どうなっているのか」
- ・7/23 ZENKO 大会(東京会場)～大阪会場のメイン集会  
とオンラインで接続 池上会館 13:30～
- ・7/24 ZENKO 大会 SDCC 分科会(第11分科会)東京会場  
9:30～ 大田区消費者生活センター 第1集会室  
～大阪会場の第11分科会とオンラインで接続



## 《 今後のスケジュール 》

- ・ZENKO 大会(大阪会場)  
7/23 13:30～ メイン集会 エルおおさか  
18:00～ コンサート 中ノ島剣崎公園
- 7/24 9:30～12:00 分科会  
SDCCは第11分科会 エルおおさか 504号室  
くわしくは <https://zenko-peace.com/2022zenko>
- ・設計変更不承認支持アクション よびかけ 大阪アクション  
7/27 18:00～19:00 大阪駅前(南口ひろば)
- ・7/28 じゅごん茶話会 14:00～ SDCC 関西事務所
- ・7/30 第2回 オンラインセミナー 14:00～15:30  
講師:宮城アキノさん(詳細5面)
- ・設計変更不承認支持アクション よびかけ 大阪アクション  
8/17 18:00～19:00 大阪駅前(南口ひろば)
- ・8/21 Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション8周年集会  
14:00～ クレオおおさか東 講師:新垣毅さん(琉球新報)  
軍事要塞化進む琉球列島 「復帰」50年と沖縄の自己決定権

## <関西>

## (告知) 第3回オンラインセミナー



### SDCC 国際担当 吉川秀樹さんに聞く 沖縄ジュゴン保護の国際的とりくみ(仮題)

講師:吉川秀樹さん(SDCC 国際担当)  
日時:10月上旬を予定。

決まり次第、SDCCのHP、ブログ、SNSで告知いたします。  
概要:米連邦議会への働きかけ、北部演習場返還地の軍事廃棄物問題の世界自然遺産関連国際機関への情報提供、ジュゴン訴訟に続く、米司法への訴えの準備・・・など、沖縄ジュゴン保護と埋め立て中止に向けた、国際的展望を語っていただく予定です。



吉川秀樹さん



6月23日慰霊の日、大阪駅前。Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクションで、玉城デニー知事の設計変更不承認を支持するスタンディングを行いました。別件で来阪していた元山仁士郎さんにもアピールしていただきました。次回は7月17日(18:00～19:00)です。

## Editor's Note

参議院選挙の翌日7月12日、「国地方係争処理委員会」は設計変更不承認に対する国土交通大臣の「取り消し採決」を違法とする沖縄県の審査申し出を却下した。国土交通大臣が「採決」しているにもかかわらず、それは「国の関与」ではないため「審査対象」ではない、とのこと。沖縄防衛局も国土交通省も「私人」だそう。なら疑いなき「公人」である沖縄県知事が、「私人」の寝言に従う必要はあるまい。

安倍元首相が遺した政治とはこのようなもの。変えるのは私たち主権者である。県知事選に勝ちましょう。(M)

## お詫びと訂正

前号122号の6面記事の守屋さんのお名前を「真美」と記載しましたが、正しくは「真実」です。

お詫びして訂正いたします。



## ジュゴンを守る第3次 ネット署名を広げてください



ネット署名のQRコードと検索方法は以下です。



SDCC Avaaz

検索



## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 〇一九支店

口座番号 当座 0660199

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.123 2022年7月19日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース  
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!



SDCCのwebsite  
<http://www.sdcc.jp/>  
には、左記QRコードより  
アクセスできます